

令和 8年度予算見積調書

課室名：消防課

担当名：消防広域担当

内線：8171

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N39	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	埼玉県特別機動援助隊訓練費	
事業期間	平成18年度～令和 8年度	根拠法令	消防組織法第29、30、43条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11
						分野施策	0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット	11-b
1 事業概要 大規模な災害発生時に県民の生命を守るため、平成18年7月発足の埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)及び緊急消防援助隊の効率的な運用を図る。実災害における救出・救助の連携強化のため、絶えず訓練を行う必要がある。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 7,186千円 技術向上、連携強化を図るため、研修・訓練を実施する。 イ 緊急消防援助隊の訓練に参加する。また、緊急消防援助隊出場時に感謝状を授与する。 251千円 ウ 緊急消防援助隊埼玉県大隊に対する後方支援体制の充実を図るため、携帯食を備蓄する。 377千円 (2) 事業計画 ア 研修・訓練の実施 埼玉SMART基礎研修4回・応用研修1回・情報伝達訓練1回・救出・救助訓練1回 イ 携帯食の購入(8月) (3) 事業効果 県内外の大規模災害等への地域防災力の強化が図られる。 令和5年度 SMART基礎研修4回・情報伝達訓練1回 令和6年度 SMART基礎研修4回・情報伝達訓練1回・応用研修1回 令和7年度 SMART基礎研修4回・情報伝達訓練1回・応用研修1回・総合実践訓練1回(予定) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 令和7年度の総合実践訓練では看護学生が要救助者役として参加、また、訓練参加協力団体から訓練用事故車両の提供を受ける予定。					
(1) 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 7,186千円									
(2) 緊急消防援助隊訓練への参加等 251千円									
(3) 緊急消防援助隊活動支援費 377千円									
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.2人=20,900千円									

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	7,814							7,814	△6
前年額	7,820							7,820	

事業内訳書

事業名	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費		
単位事業名	埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業	予算額	7,186千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,186	△160	
合計	7,186	△160	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	113	0	研修・訓練連絡調整旅費 6回 研修・訓練出張旅費 5回
需用費	190	0	救助・救護訓練資機材購入費等
役務費	9	0	救助・救護訓練連絡費
委託料	6,826	0	
使用料及び賃借料	48	△160	訓練用資機材運搬車両レンタル料 1日 埼玉SMART会議、作業部会会場使用料 1回
合計	7,186	△160	

単位事業名	緊急消防援助隊訓練への参加等	予算額	251千円
-------	----------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	251	137	
合計	251	137	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	200	150	埼玉県連絡会議 4回 関東ブロック合同訓練参加 1回 全国合同訓練参加 1回
需用費	19	△5	緊急消防援助隊出動に対する感謝状等消耗品
役務費	32	△8	緊急消防援助隊出動に対する感謝状
合計	251	137	

単位事業名	緊急消防援助隊活動支援費	予算額	377千円
-------	--------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	377	17	
合計	377	17	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	377	17	緊急消防援助隊出動時の携帯食 備蓄更新分700食
合計	377	17	